



## 2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年8月8日

上場会社名 株式会社ビジュアル・プロッシング・ジャパン 上場取引所 東  
 コード番号 334A URL https://www.vpj.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三村 博明  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松本 勝裕 TEL 03-6772-8056  
 半期報告書提出予定日 2025年8月8日 配当支払開始予定日 -  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期中間期	626	1.6	101	10.8	86	△7.2	57	△9.6
2024年12月期中間期	616	—	91	—	93	—	63	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	37.24	—
2024年12月期中間期	45.38	—

- (注) 1. 当社は2023年12月期中間期については中間財務諸表を作成していないため、2024年12月期中間期の対前年中間期増減率については記載しておりません。  
 2. 2025年12月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、希薄化効果を有する潜在株式が存在していないため記載しておりません。2024年12月期中間期においては当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期中間期	1,549	1,166	75.3
2024年12月期	1,107	782	70.7

(参考) 自己資本 2025年12月期中間期 1,166百万円 2024年12月期 782百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	13.11	13.11
2025年12月期	—	0.00	—	—	—
2025年12月期（予想）	—	—	—	15.74	15.74

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年12月期の業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,356	12.3	223	22.1	223	21.1	130	6.5	81.29

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 1株当たり当期純利益については、2025年3月25日付で払込完了した公募（ブックビルディング方式による募集）による新株式の発行に伴う公募増資分（255,000株）及び2025年4月16日に払込完了したオーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資（6,900株）を含めて算定しております。

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2025年12月期中間期	1,661,900株	2024年12月期	1,400,000株
2025年12月期中間期	一株	2024年12月期	一株
2025年12月期中間期	1,542,372株	2024年12月期中間期	1,400,000株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績等予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、T D n e t で本日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間貸借対照表 .....	4
(2) 中間損益計算書 .....	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の拡大等により、社会経済活動が緩やかに回復し社会経済活動の正常化が進む一方、世界的な情勢不安の継続により物価上昇や円安傾向が未だ継続するとともに、米国の政策による影響は引き続き不確定要素であり、関税引き上げ、米中の貿易摩擦の再燃、地政学リスクの高まりなどによって依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社が事業展開する情報・サービス産業界ではAI・自動化の話題性もあり、引き続きDX（デジタルトランスフォーメーション）のニーズと関心は高い状況にあります。その結果、当社の事業も主力製品のDAM（デジタルアセットマネジメント）とPIM（プロダクトインフォメーションマネジメント）システムであるCIERTOを中心に順調に推移しており、当社が訴求する「企業活動における媒体・コンテンツの制作・管理・配信のためのDXソリューション」のビジネスは着実にマーケットに浸透してきました。

既存ビジネスは、年初のサブスクリプション及び保守サービスの増収により上半期の売上に貢献しました。

新規ビジネスは、クラウドサービスを中心にCIERTO DAM | PIMの新規納入が21件と前年同期比61.5%増となり売上に貢献するとともに、CIERTOの既存顧客に対する増設・拡張による案件が売上につながりました。

尚、当社の重要な指標であるCIERTOの新規契約数は21件（前年同期比8件増）となり、ARRは867,851千円（同12.3%増）と安定的に推移しました。また、CIERTO解約率は1.13%（同2.7%増）と昨年実績よりも微増したものの、継続して低い解約率を維持しております。

開発ビジネスにおいては、小規模な開発案件が複数完了したことで売上に貢献しております。また、当事業年度における業績予想の通り、下半期に完了を予定する大規模な開発案件の活動を実施しております。

その他、当中間会計期間において2025年3月25日の東京証券取引所グロース市場への上場に関わる諸経費による上場関連費用及び株式交付費として13,203千円計上し、経常利益及び中間純利益の低減に影響しております。

以上の結果、当中間会計期間の経営成績は、売上高626,562千円（前年同期比1.63%増）、営業利益101,606千円（前年同期比10.84%増）、経常利益86,976千円（前年同期比7.15%減）、中間純利益57,440千円（前年同期比9.58%減）となりました。

なお、当社は、DXソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

### (2) 当中間期の財政状態の概況

#### (資産)

当中間会計期間末における資産合計は1,549,420千円となり、前事業年度末に比べ441,757千円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が51,957千円、東京証券取引所グロース市場への上場に伴う新株発行により現金及び預金が330,890千円増加したことによるものです。

#### (負債)

当中間会計期間末における負債合計は383,144千円となり、前事業年度末に比べ58,114千円増加いたしました。これは主に、賞与引当金が9,725千円減少した一方、買掛金が40,128千円、前受金が41,731千円増加したことによるものです。

#### (純資産)

当中間会計期間末における純資産合計は1,166,276千円となり、前事業年度末に比べ383,642千円増加いたしました。これは主に、東京証券取引所グロース市場への上場に伴う新株発行により資本金が172,277千円、資本剰余金が172,277千円増加したことによるものです。

### (3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、前事業年度末に比べて330,890千円増加し、1,026,847千円となりました。

当中間会計期間におけるキャッシュ・フローの状況及び変動要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は63,325千円となりました。これは、主に税引前中間純利益86,976千円を計上したことによるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は43,672千円となりました。これは、主に無形固定資産の取得による支出20,514千円、敷金及び保証金の差入による支出21,500千円が生じたことによるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は312,997千円となりました。これは、主に東京証券取引所グロース市場への上場

に伴う株式の発行による収入337,946千円が生じたことによるものです。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の業績予想につきましては、2025年3月25日公表の「東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」から変更ございません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当中間会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	695,956	1,026,847
受取手形及び売掛金	119,052	171,009
仕掛品	28,578	48,075
その他	36,721	54,857
貸倒引当金	△473	△886
流動資産合計	879,835	1,299,903
固定資産		
有形固定資産	38,749	36,402
無形固定資産	60,551	66,700
投資その他の資産	128,527	146,414
固定資産合計	227,827	249,517
資産合計	1,107,663	1,549,420
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	33,906	74,034
未払法人税等	26,510	31,262
前受金	168,507	210,238
賞与引当金	21,300	11,574
その他	74,805	56,033
流動負債合計	325,029	383,144
負債合計	325,029	383,144
純資産の部		
株主資本		
資本金	35,000	207,277
資本剰余金	—	172,277
利益剰余金	747,633	786,720
株主資本合計	782,633	1,166,276
純資産合計	782,633	1,166,276
負債純資産合計	1,107,663	1,549,420

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
売上高	616,498	626,562
売上原価	268,665	235,776
売上総利益	347,832	390,785
販売費及び一般管理費	256,163	289,179
営業利益	91,669	101,606
営業外収益		
受取利息	4	313
為替差益	2,026	—
その他	—	39
営業外収益合計	2,030	352
営業外費用		
支払利息	23	—
為替差損	—	1,779
株式交付費	—	6,608
上場関連費用	—	6,595
営業外費用合計	23	14,983
経常利益	93,676	86,976
特別利益		
投資有価証券売却益	2,461	—
特別利益合計	2,461	—
税引前中間純利益	96,137	86,976
法人税、住民税及び事業税	23,203	26,427
法人税等調整額	9,404	3,107
法人税等合計	32,607	29,535
中間純利益	63,529	57,440

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前中間純利益	96,137	86,976
減価償却費	20,909	18,565
敷金償却費	2,078	1,542
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	157	413
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9,550	△9,725
為替差損益 (△は益)	△2,530	1,761
投資有価証券売却損益 (△は益)	△2,461	-
株式交付費	-	6,608
上場関連費用	-	6,595
支払利息	23	-
受取利息	△4	△313
売上債権の増減額 (△は増加)	△26,211	△51,957
棚卸資産の増減額 (△は増加)	31,156	△19,496
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,279	40,128
前受金の増減額 (△は減少)	12,006	41,731
その他	△37,139	△33,307
小計	89,851	89,522
利息の受取額	4	313
利息の支払額	△20	-
法人税等の支払額	△42,740	△26,510
営業活動によるキャッシュ・フロー	47,094	63,325
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△264	△619
無形固定資産の取得による支出	△16,527	△20,514
保険積立金の積立による支出	△1,072	△1,072
投資有価証券の売却による収入	2,461	-
敷金及び保証金の返戻による収入	208	35
敷金及び保証金の差入による支出	△359	△21,500
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,554	△43,672
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△3,000	-
株式の発行による収入	-	337,946
上場関連費用の支出	-	△6,595
配当金の支払額	△7,000	△18,354
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,000	312,997
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,530	△1,761
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	24,070	330,890
現金及び現金同等物の期首残高	635,927	695,956
現金及び現金同等物の中間期末残高	659,998	1,026,847

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年3月25日付で東京証券取引所グロース市場に株式を上場いたしました。この上場にあたり、2025年3月24日を払込期日とする有償一般募集増資（ブックビルディング方式による募集）による普通株式255,000株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ167,739千円増加いたしました。

また、2025年4月16日を払込期日とする第三者割当増資（オーバーアロットメントによる売出し）による普通株式6,900株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ4,538千円増加いたしました。

この結果、当中間会計期間末において、資本金が207,277千円、資本剰余金が172,277千円となりました。

(セグメント情報等の注記)

**【セグメント情報】**

当社は、DXソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。